

大野っ子だより

～ 笑顔・元気・チームワーク・感謝～

海南市立大野小学校

第7号 令和元年9月24日

流れる雲に秋の訪れが感じられるようになりました。9月9日に143歳をむかえた本校では、今、児童・教職員が一丸となって、28日の運動会の練習に取り組んでいます。

今回の学校だよりは、2つの全国調査(学力・体力)の結果についてお知らせします。

1 大野っ子の学力について

2007年から毎年実施されている「全国学力・学習状況調査」の今年度の結果がまとまりました。この調査は、小学校においては6年生を対象に、算数と国語(年度によって理科も)の学習状況を把握・分析し、その改善を図ることを目的に文部科学省が実施しています。

今年度の本校の結果は、次の通りです。

平成31年度全国学力・学習状況調査結果表

	国語	算数A	合計
大野小学校	—	—	—
和歌山県	64.0	66.5	130.5
全国	63.8	66.6	130.4

※今年度から、A問題(主として「知識」に関する内容)とB問題(主として「活用」に関する内容)の区別がなくなり、一体的な問題で調査することになりました。



(考察)

- 国語も算数も無回答率が低く、長い問題文に対してもあきらめずに最後まで考えて取り組もうとする姿勢が窺えます。
 - 依然記述式の問題に課題は残りますが、正答率は高くなっています。
 - 国語では、同音異義語(「関心」と「感心」、「対象」と「対称」)の正答率が低く、文章の意味に合う漢字を使うことに課題がみられます。
 - 算数では、単位量(一人あたり、1mあたり等)に関する問いを苦手に行っている子が多いです。また、質問紙調査(生活習慣や学習環境等に関する内容)から見て取れる特徴的な事項としましては、
 - 基本的な生活習慣はよく身につけていて、自己肯定感が高い子が多いです。
 - 学校生活や学級活動に対する肯定的な意見が多く、充実度が高いです。
 - 「失敗を恐れず挑戦する」「困っている人を進んで助ける」の肯定率が低く、積極的に行動するのが苦手です。
- 今後、調査結果から得た課題の解決に向け、教員一丸となって授業の工夫、効果的な指導に一層努めていきます。

2 大野っ子の体力について

今年度の5月に実施した体力テストの結果と、全国平均を比較したものです。

	男子						女子					
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	4年	5年	6年
握力	×	—	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×
上体そらし	×	○	○	○	—	—	×	○	○	○	○	○
長座体前屈	○	—	×	○	—	○	○	○	×	—	—	—
反復横とび	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
シャトルラン	○	○	○	○	○	×	○	○	×	—	○	○
50m走	×	—	—	—	×	×	×	×	×	×	×	×
立ち幅とび	—	○	○	○	○	—	—	—	○	—	○	○
ソフトボール投げ	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	—	×



【記号の意味】
▲ — ○
全国平均より低い
全国平均と同じ程度
全国平均より高い

※上体そらし、長座体前屈は、柔軟性をみる種目です。

※反復横とびは、敏捷性をみる種目です。

※シャトルランは、持久力をみる種目です。

学年によって結果が少し違いますが、総じて上体そらし、反復横とび、シャトルランが良い結果です。一方、握力、50m走、ソフトボール投げに課題が見られます。低学年では、経験が不足しているために成果を出せなかった種目もあるように感じます。今後、体育授業の工夫と体育行事や休憩時間の遊びの改善等に取り組むことが大切であると同時に、放課後や休日の過ごし方等、家庭と連携した取組も必要であると考えます。